

日本国特許庁 27.10.00
 ENJ
 PATENT OFFICE
 JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
 Date of Application: 2000年 5月15日

出願番号
 Application Number: 特願2000-141497

出願人
 Applicant(s): 松下電器産業株式会社

REC'D 08 DEC 2000
WIPO PCT

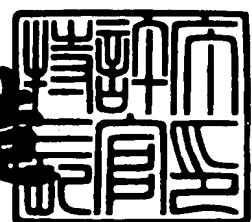
CERTIFIED COPY OF
 PRIORITY DOCUMENT

PRIORITY
 DOCUMENT
 SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
 COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2000年12月 1日

特許庁長官
 Commissioner,
 Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3099314

【書類名】 特許願
【整理番号】 2033820040
【提出日】 平成12年 5月15日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 H04L 12/08
 H04M 3/00
 H04Q 3/00

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式
 会社内

【氏名】 山口 孝雄

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式
 会社内

【氏名】 佐藤 潤一

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100097445

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩橋 文雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100103355

【弁理士】

【氏名又は名称】 坂口 智康

【選任した代理人】

【識別番号】 100109667

【弁理士】

【氏名又は名称】 内藤 浩樹

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011305

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9809938

【書類名】 明細書

【発明の名称】 データ更新方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 記憶装置を備えるサービス提供側端末と、1つ以上の機器を収容できる利用者側端末から構成され、前記機器が保持する情報を定められた規則で、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報と比較し、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報を更新することを特徴とするデータ更新方法。

【請求項 2】 記憶装置を備えるサービス提供側端末と、1つ以上の機器を収容でき、記憶装置を備える利用者側端末から構成され、前記利用者側端末が保持する情報を定められた規則で、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報と比較し、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報を更新することを特徴とするデータ更新方法。

【請求項 3】 記憶装置を備えるサービス提供側端末と、1つ以上の機器を収容でき、記憶装置を備える利用者側端末から構成され、前記機器が保持する情報を定められた規則で、前記利用者側端末の記憶装置内の情報と比較し、前記利用者側端末の記憶装置内の情報を更新することを特徴とするデータ更新方法。

【請求項 4】 前記機器の終了時、定められた周期毎、記憶装置へ書き込みもしくは読み込みが行われた場合、定められた操作が行われた場合のうち、少なくとも1つ以上の操作が行われた場合に、予め定められた情報の更新を行うことを特徴とする請求項1、2、3記載のデータ更新方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、様々な機器に散在する情報を相互に更新する方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来の方法では機器の電源が投入されており、アクセスが制限されていない（ファイヤーウォールを介さない）ネットワーク環境での利用が前提であった（NF

S:Network File System Protocol specification RFC 1094, March 1989)。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

従来は、家庭側の機器の電源が落ちていたり、家庭側へのアクセスが制限されている機器の情報の参照、更新が困難であった。

【0004】

【課題を解決するための手段】

記憶装置を備えるサービス提供側端末と、1つ以上の機器を収容できる利用者側端末から構成され、前記機器が保持する情報を定められた規則で、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報と比較し、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報を更新することを特徴とするデータ更新方法もしくは、

記憶装置を備えるサービス提供側端末と、1つ以上の機器を収容でき、記憶装置を備える利用者側端末から構成され、前記利用者側端末が保持する情報を定められた規則で、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報と比較し、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報を更新することを特徴とするデータ更新方法もしくは、

記憶装置を備えるサービス提供側端末と、1つ以上の機器を収容でき、記憶装置を備える利用者側端末から構成され、前記機器が保持する情報を定められた規則で、前記利用者側端末の記憶装置内の情報と比較し、前記利用者側端末の記憶装置内の情報を更新することを特徴とするデータ更新方法により、家庭側の機器の電源が落ちていたり、家庭側へのアクセスが制限されている機器の情報の参照、更新を容易に実現する。

【0005】

【発明の実施の形態】

記憶装置を備えるサービス提供側端末と、1つ以上の機器（例えば、パーソナルコンピュータ、FAX、（携帯）電話など）を収容（ネットワーク接続されている）できる利用者側端末から構成され、前記機器が保持する情報を定められた規則で、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報と比較し、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報を更新する（図1（1））。機器が備える記憶装置

の情報を、サービス提供側端末へ伝送し、更新することで機器の電源が落とされても、機器の情報を参照し修正したりすることができる。逆に、サービス提供側端末の情報が更新されても、家庭側の機器の電源が投入され、利用可能状態になった場合、機器はサービス提供側端末の情報の更新状況を調べて、自らの情報の更新を行うことで、情報の一貫性を保つことが可能になる。

【0006】

なお、情報の更新は、利用者側端末に記憶装置が存在する場合、機器やサービス提供側端末は、利用者側端末の記憶装置を仲介して情報更新しても良い。情報の更新タイミングとしては、機器の終了時、定められた周期毎、記憶装置へ書き込みもしくは読み込みが行われた場合、定められた操作が行われた場合（たとえば、一定時間、入出力の操作が無い場合）のうち、少なくとも1つ以上の操作が行われた場合に、予め定められた情報（たとえば、特定のディレクトリにある文書ファイル）の更新を行う。ここで情報とは、たとえば、パーソナルコンピュータの場合は、文書ファイルであり、FAXの場合は電子的なイメージファイルであり（電子メールの添付ファイルであってもよい）、電話の場合は、電子的に記録された音声である。

【0007】

また、別の利用形態としては、記憶装置を備えるサービス提供側端末と、1つ以上の機器を収容でき、記憶装置を備える利用者側端末から構成され、利用者側端末が保持する情報を定められた規則で、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報と比較し、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報を更新してもよい（図1（2））。利用者側端末へ様々な情報が集められ記録される場合、手軽に、家庭外から自由に家庭内の情報へのアクセスを容易にするために、情報をサービス提供側端末へ伝送し、更新する。前述と同様に、サービス提供側端末の情報が更新されても利用者側端末の情報を自動的に更新するようにすることで、情報の一貫性が保たれる。本利用形態は、家庭の情報がすべて利用者側端末の記憶装置で集中管理される利用形態に適用できる。

【0008】

さらに、別の利用形態として、記憶装置を備えるサービス提供側端末と、1つ

以上の機器を収容でき、記憶装置を備える利用者側端末から構成され、前記機器が保持する情報を定められた規則で、利用者側端末の記憶装置内の情報と比較し、利用者側端末の記憶装置内の情報を更新する。機器が備える記憶装置の情報を、利用者側端末へ伝送し、更新することで機器の電源が落とされても機器への情報アクセスが可能となる（図1（3））。

【0009】

逆に、利用者側端末の情報が更新されても、家庭側の機器の電源が投入され、利用可能状態になった場合、機器は利用者側端末の情報の更新状況を調べて、自らの情報の更新を行うことで、情報の一貫性を保つことが可能になる。本利用形態では、プロバイダーが提供するサービス提供側端末（記憶装置）を用意する必要がない。

【0010】

本発明によれば、家庭側の機器の電源が落ちていたり、家庭側へのアクセスが制限されている機器の情報の参照、更新が容易に実現できる。

【0011】

情報の更新プロトコルとしてはftpのような標準プロトコルであっても、独自プロトコルであってもよい。なお、本システムの利用は家庭だけではなく、車に代表される移動体通信への利用も可能である。

【図面の簡単な説明】

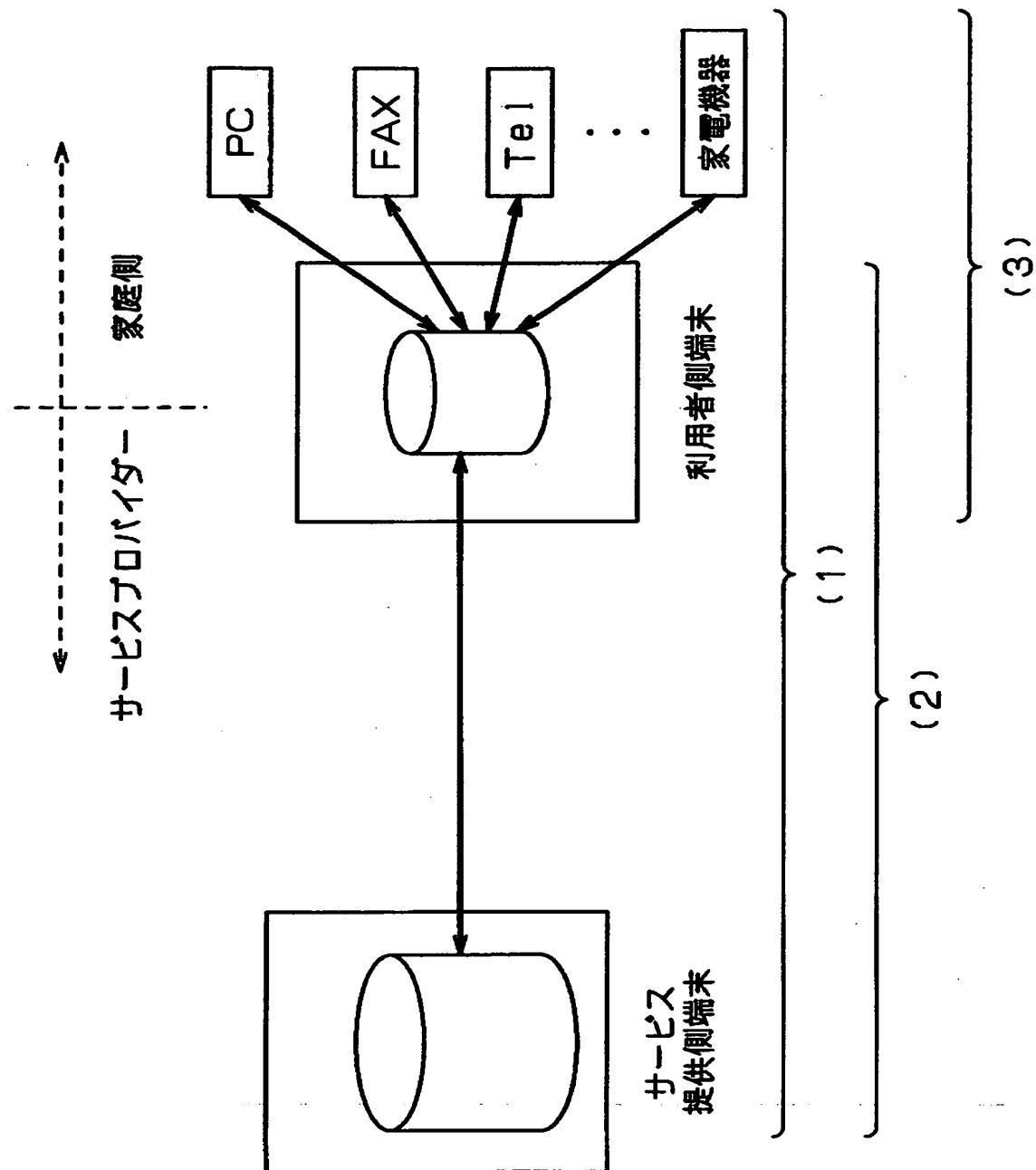
【図1】

情報更新の方法について説明する図

【書類名】

図面

【図1】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 本発明は、様々な機器に散在する情報を相互に更新する方法に関するものである。

【解決手段】 記憶装置を備えるサービス提供側端末と、1つ以上の機器を収容できる利用者側端末から構成され、前記機器が保持する情報を定められた規則で、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報と比較し、前記サービス提供側端末の記憶装置内の情報を更新することを特徴とするデータ更新方法により、家庭側の機器の電源が落ちていたり、家庭側へのアクセスが制限されている機器の情報の参照、更新を容易に実現する。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000005821]

1. 変更年月日 1990年 8月28日

[変更理由] 新規登録

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
氏 名 松下電器産業株式会社